

番号	30	名称	海老原商店
----	----	----	-------

指定日	平成 15 年 6 月 9 日	所在地	神田須田町二丁目 13 番地
-----	-----------------	-----	----------------

設計者	海老原保蔵、黒田画伯 (ファサードデザイン)	竣工	昭和 3 年 (1928)
-----	------------------------	----	---------------



### 歴史・文化的特徴

神田須田町二丁目から柳原通りを中心に、明治初期に生まれた古着屋街から発展した生地・既製服問屋街が広がる。

建物は、柳原通りに面する古着を扱う老舗として人々に親しまれてきた。

昭和 20 年 (1945) 2 月 25 日の空襲の時、地域住民の必死の消火活動で奇跡的に焼失を免れた地域で、周辺にも同様の看板建築が多く残っている。

### 意匠・構造の特徴

当時、看板建築のファサードは大工の棟梁の手によるものが多かったが、当建物は画家の手によるデザインで、隣接する銅板貼りの看板建築に比べると洋風の色合いが濃く、バランス良くまとまったファサードデザインとなっている。

1,2 階はタイル貼りを基調とし、2 階部分には色モルタル、屋根には銅板という具合に多様な材料が使用されている。

### 周辺景観との関係

周辺は神田川に沿って看板建築が集中して残っており、震災復興期を象徴するような歴史的景観が形成されている。

まち全体がヒューマンスケールであり、建物が醸し出す雰囲気により、親しみのある景観を形成している。